

## NEWS 絆

## 東北生産性本部

## 第42回仙台シンポジウム8月例会開催

## 「安倍政権の課題と日本政治の行方」

第42回仙台シンポジウム8月例会は、政治アナリスト 伊藤 惇夫 氏を講師にお迎えし、約60名の参加を得て開催いたしました。

## ■ 8月例会（2019年8月2日開催）

## 講師 政治アナリスト 伊藤 惇夫 氏

プロフィールなど

1948年神奈川県生まれ。学習院大学法学部卒。約20年間の自民党本部勤務を経て新進党に移る。その後、太陽党、民政党、民主党の事務局長に就任。新党の立ち上げに次々と立ち会ったことから「新党請負人」の異名を持つ。2001年に民主党を退任し、政治アナリストとして独立。執筆業のほか、ニュース番組等でコメンテーターとして活躍。現在、学習院大学等で講師を務める。著書に『政党崩壊』『永田町「悪魔の辞典」』など。

## 【ご講演要旨】

コメンテーターとして出演されているテレビ番組の裏話から、過去の政治家の人間像、先月の参院選の結果を受けた今後の政局の動きやポスト安倍の見通しなど、非常に興味深いお話をいただきました。

## ○テレビ番組の裏側

- ・時間をたっぷりもらえる番組はよいが、2～3分しかもらえない番組もある。
- ・司会者でかなり変わる。中途半端に知っているつもりで司会者はやりにくい。
- ・途中寝ていて急に目覚めて脈略のない質問をしてくる司会者もいた。



○過去の政治家の人間像

- ・田中角栄元首相は、情報収集能力がすさまじかった。また、集まった情報を選択して、引き出しにしまい、使っていた。その決断力は豊富な情報に支えられていた。
- ・竹下登元首相は、温厚な人物として知られていたが、自らの感情を完全にコントロールしていた。このため、周囲からは何を考えているのか全く分からず、最も怖い政治家でもあった。
- ・これに対し、最近の政治家は言動が軽い。

○参院選後の政局

- ・与党が大勝利と報道されているが、そうとも言えないのではないか。
- ・野党も保守・リベラルの双方から幅広く支持を得られるような政党がない。
- ・新たな55年体制のもとで安定するか。
- ・安定政権だからこそ長期ビジョンを策定し、国民に提示すべき。
- ・ポスト安倍は、安倍政権の終わり方で変わってくるのではないか。
- ・これまで注目されていなかった人が急浮上することもありうる。

以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。

**第42回仙台シンポジウム (2019年度)**

**\*会場：仙台商工会議所会館7階 大会議室**

**【今後の開催予定】**

**9月例会 2019年9月2日(月) 13:30~15:00**

『労働力喪失時代の“スマートエコノミー”を目指して』  
講師：産業戦略研究所 代表 村上輝康氏

**10月例会 2019年10月16日(水) 13:30~15:00**

『最近の事象から見るコンプライアンスの在り方』  
講師：中央大学法科大学院 教授／弁護士 野村修也氏

**11月例会 2019年11月13日(水) 13:30~15:00**

『人口減少時代における労使の役割』  
講師：日本労働組合総連合会 会長 神津里季生氏

**12月例会 2019年12月3日(火) 13:30~15:00**

『2020年世界の潮流を読む』  
講師：(一財)日本総合研究所 会長 寺島実郎氏